

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月20日(火)

事務事業		防災施設整備維持事業		担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	7331	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	災害対策基本法、深谷市地域防災計画					
	小項目	1	災害に強い防災体制の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		防災倉庫の維持管理及び災害対応に必要な資機材、食料等の管理・購入を行うことで、災害時における市民の安全と必要最低限の食料等を確保するものである。また、市民や職員に対し情報を周知・伝達するため、防災行政無線等の維持管理を実施するものである。								
目的 ※何のために		災害時に市民の安全を確保するため								
対象 ※誰・何を対象に		防災倉庫及び防災行政無線								
手段 ※どのように		防災倉庫及び備蓄品の維持・管理並びに防災行政無線の維持・管理を実施し、情報の周知、伝達を行う。								
成果 ※何を求めるか		防災地区拠点及び防災行政無線の機能維持								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	11	災害対策費	防災施設整備維持事業	42,108,129
本事業の 主な業務		・ 防災行政無線の維持・管理					・			
		・ 保守点検業務委託					・			
		・ 防災倉庫及び備蓄品の維持・管理					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		防災倉庫の増設 防災倉庫の保守管理 防災行政無線の保守点検 管理、移設工事	防災倉庫の保守管理 防災行政無線保守管理、 移設工事 避難情報等架電サービスの開始	防災倉庫の保守管理 防災行政無線保守管理	県衛星系防災行政無線再 整備工事・Jアラートア ンテナ設置工事 防災倉庫の保守管理 防災行政無線保守管理		
事業費	予算(現額)	48,638,000	48,063,000	36,907,000	50,227,000		
	決算額	43,411,763	42,108,129	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	5,500,000	0	13,800,000		
		他特定財源	111,146	111,146	111,000		
	一般財源	37,800,617	41,996,983	36,796,000	36,316,000		
人件費	従事職員数(人)	1.24	1.18	1.18	1.18		
	人件費相当試算※	9,758,251.00	9,451,995.00	9,865,862.00	9,865,862.00		
総事業費試算		53,170,014	51,560,124	46,772,862	60,092,862		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	備蓄食糧数	目標値	食	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
		実績値		62,790.00	74,112.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		備蓄食糧数の実績値						
	実績値の算出式								
活動指標 2	防災行政無線保守点検箇所数	目標値	箇所	93.00	91.00	92.00	96.00	92.00	93.00
		実績値		93.00	91.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		消防本部、市役所、子局（276局に再送信局2局を含む）、Jアラート / 保守点検箇所総数279箇所						
	実績値の算出式								
成果指標 1	備蓄食糧の充足率	目標値	%	100.00					
		実績値		104.65	119.90				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		備蓄食料数÷60,000食						
	実績値の算出式								
成果指標 2	防災行政無線放送回数迷い人、詐欺、熱中症、防犯等	目標値	件						
		実績値		194.00	208.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		発生事例により放送するため事前に目標値を定めるものではない / 発生事例により放送するため						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	備蓄食糧数、防災行政無線保守点検数ともに目標値に達しているため、A評価とする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	備蓄食糧の充足率について目標値を上回っているため、A評価とする。
			評価者 防災係長 小川 和成

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	備蓄計画において、備蓄食糧のローリングストック方式による管理を確立し、食料の入れ替えの効率化や予算の平準化を行っている。
			評価者 防災係長 小川 和成

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	防災倉庫が整備されていない避難所への防災倉庫の設置について、計画的に進めていく。
達成状況及び その効果	避難所となる小中学校と調整し、空き倉庫等、備蓄品の保管が可能なスペースがある小中学校に備蓄品を配備した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	防災施設整備維持事業	担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	7331
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div>		<div>評価の内容説明</div> <div>備蓄食料等については、引き続きローリングストック方式により、計画的に管理していく。 また、防災行政無線に関しても、災害時に確実に機能するよう、保守点検や維持管理を適切に行う。 なお、令和5年度は、携帯やスマートフォンをお持ちでない方に避難情報等を伝達するため、避難情報等架電サービスを導入し、情報伝達手段の拡充を行った。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	総務部次長兼総務防災課長 村尾 厚彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	災害時にライフラインと同様に重要な社会基盤となるトイレの個数や衛生面の管理などについて検討を行い、必要に応じて備蓄計画や、災害対応マニュアルの見直しを行う。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	県と県内市町村において一体的に整備している衛星系防災行政無線の老朽化に伴う再整備について、県と連携し着実に実施することで、衛星系防災行政無線の強靱化を図る。 併せて、衛星系防災行政無線とJアラートのアンテナの分離工事を実施することで、Jアラートの通信性能の向上を図る。

8. 評価指標グラフ

